

小中合同運動会・清流祭開催！

大成功！

9月9日(土)絶好の運動会日和、小学校・中学校合同の運動会・清流祭が多くのお客様や地域の方にお越しいただく中で盛大に行われました。今年度の清流祭テーマは「UNION」団結・結合の意味を持ち「不撓不屈」の生徒会スローガンのもと一層の団結を図りました。

生徒たちは、2学期に入ってから他の中学校では見られないほど多くの担当を抱え、毎日が本当に忙しく、そして精力的にその準備活動に取り組んでいました。それぞれの生徒が多くの悩みやプレッシャーを抱えながらも、自分との闘いや葛藤に打ち勝ち、本番で見た発表の姿は一回りも二回りも大きくなったように感じました。また、結果だけでなくプロセスを含め大成功に導いた経験は、これからの生活を支えていく大きな力になるはずです。



中学生期・二次性徴期

皆さんは、第二性徴ということばを聞いた事がある(覚えている)でしょうか？これは中学校1年生の保健の授業に出てくることばで、小学生高学年から高校生期にかけて身長や体重の増加と併せて成長ホルモンの分泌が多くなり、男女の性差が出てくる事です。また、自我が目覚め大人へと成長していく重要な時期の事です。そのため、この時期の

出会いや体験・物事への取り組み方

が、後の人間形成に大きく関わってきます。つまり、この時期をどう過ごすかによって人生を大きく左右するといっても過言ではありません。

1学期の終業式で、元プロ野球の監督：野村克也のことば「若いときに流さなかった汗は、年をとったときの涙となる」を紹介しました。そして、2学期の始業式で「どんな事にも全力で取り組んで欲しい。」と話をしました。(裏面に続く・・・)





前述したように、中学生の時期になると自我も目覚め、物事に対しての自分の考えをしっかりと持つようになります。

また反抗期（恥ずかしい・面倒くさい等）が現れるのもこの時期特有のものでもあります。この自我が現れてくる時期だからこそ、どんな事に出会い、どう対処していくかという事が重要になってくるのです。

時に人は、乗り越えられないと思うような壁に直面する事があります。その壁の高さの感じ方は人によって違います。しかし、どれだけ高くても全力でチャレンジしてください。疲れたら休みながらでも良い。失敗してもくじけず、またチャレンジしてください。失敗する事が成長していく事になるのです。

大人になっていくために重要なこの中学生の時期は、失敗を恐れず多くの事に全力で立ち向かっていってください。

「試練は、乗り越えられる人にだけ与えられる。」と信じています。

丹波山村を振り返ってみた事がありますか？

（雑感）私が、この村に赴任してからあっという間に6ヶ月が経とうとしており、今までになく時間の過ぎるのを早く感じています。皆さんは、この村で生活している事をどのように感じていますか？

特に、この村に生まれ幼少の頃から生活をしていると何もなく当たり前の様に生活をしているのではないのでしょうか。



私は静岡県の海水浴場の近くで生まれ育ち、32年前に山梨に来ました。山梨に来た当時は文化の違いに驚いたことが多くありました。例えば、ある時、甲州弁で「〇〇へ行っちゃ！」と言われ、命令されたと思った私は「はい、行ってきます！」とすると「行っちゃ！って言うてるだろ！」と叱られたり、体育館の中で鳥が飛んでいると思ったら「コウモリだ」と教えられたり、また「昇仙峡で熊の出没」についてニュースで報道された時は、「コウモリとか熊とかジャングルにしかない！」と思い込んでいた私には大きな衝撃だった事を今でも覚えています。

そして今年の4月に、初めてこの村に住み「行き交う人全てがあいさつをしてくれる。」また、「朝起きて村を歩くと爽やかで、生まれて初めて空気がおいしい。」と感じながら生活を始めました。

何気ない事ですすが凄い事なのです。また、子供を育てるための学費が全て無償だったり、子供たちのために多くの人たちが関わってくれたり、他の地域では考えられない事ばかりです。

自然や人は得ようと思っても得られるものではありません。正直、買い物や病院、大雨の通行止めが少し不便だったりもしますが、今ではこの村で生活している事を心地よく感じ、自分の家族と暮らしても良いなと思うようにもなりました。



皆さんも縁あってこの地に住んでいます。他にはない魅力を大切にしていきたいですね。

--